

～「このまちで自分らしく暮らしたい」という思いを実現するために～

ささゆり園だより



社会福祉法人あかつき福祉会
箕面市立障害者福祉センターささゆり園

住所: 箕面市西小路3-9-9

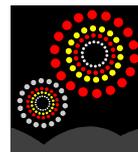
電話・FAX: 072-724-2940

ブログ: <http://akatsukiminoh.blog.fc2.com/>



～2013年プール活動～

ささゆり園の中庭に巨大プールが登場！！皆さんとってもいい表情で夏を満喫されていました♪



<今号のトピックス>

- 生活介護事業の活動風景
- スヌーズレンって何？
- 障害者虐待防止法について



生活介護事業の活動風景

バーベキュー大会

5月28日(火)、室内バーベキュー大会を実施しました。

なぜ室内?というのも、当日は土砂降り…。

今年の梅雨入りは早すぎました(涙)。

しかし皆雨にも負けず、グループに分かれてポテトサラダやデザートを作っていました。



そして、お肉が焼きあがると皆テンションUPでした♪♪

毎年この時期に行われるバーベキュー大会は、ご家族の方々にも多数ご参加いただいています。

ご家族同士やスタッフとの交流をとおして、とっても素敵な利用者さんの笑顔がたくさん見せて頂きました。



野菜作り

ささゆり園では、1年を通して様々な野菜作りをしています。

毎日水やりを欠かさない方、愛情いっぱい育てた野菜が収穫できた時に「俺が育ててるねん」と自慢される方、グリーンカーテンの下で気持ちよさそうに昼寝をする方など、楽しみ方は皆さんそれぞれ。しかし、多くの利用者さんが一番楽しみにしているのは、「収穫する時！」…ではなく、収穫した野菜を「食べる時」のようで、「自分たちで育てた野菜の味は格別!!」と毎回瞳がキラキラ!!

野菜作りでは、①運動不足の解消②筋力低下の予防③収穫の楽しみ(達成感)など様々な効果が得られますが、何より利用者さん本人が「やりたい」「楽しい」と思う気持ちを大切に続けていきたいと思えます。



ボランティアさんによる活動

ささゆり園には、マジックショー、紙芝居、歌体操、ブラスバンドコンサートなど様々なボランティアさんがきて下さいます。7月19日(金)は「和太鼓グループ響」さんによる和太鼓のコンサートがあり、和太鼓の迫力や身体に伝わる振動に「すごい!」と圧倒されたり、和太鼓のリズムに自然と身体を動かされたり、皆さん其々コンサートを満喫されていました。また、ボランティアさんや地域の方との協働イベントは、利用者さんだけでなく、職員にとっても良い刺激になっています。



スヌーズレンって何？

スヌーズレンとは

スヌーズレンという用語はオランダ語で、「クンクン匂いを嗅ぐ」、「うとうとする」という用語を組み合わせた造語で、「自由に探索する、心地よくまどろむ」様子を表しています。スヌーズレンでは、誰もが感じ取りやすく、楽しみやすいように、光、音楽、において、いろいろな素材の触れるもの、懐かしいものなどを使って5感(視覚、聴覚、味覚、触覚、嗅覚)を優しく刺激する環境を作ります。そして、自分のペースで好きな感覚を楽しむことにより、心身の緊張がほぐれる、気持ちが穏やかになる、自発性生まれる、コミュニケーションが取りやすくなるなどの効果があります。また、利用者さんと支援者が楽しみや安らぎを共有する事で相互の信頼関係構築にも繋がります。



障害者虐待防止法について

<虐待の深層に潜むもの>

園長 加藤 隆之

昨年10月に障害者虐待防止法が施行され、はや10ヶ月が経過しました。この間、障害のある方々にとって、何が違って、何が変わっていないのでしょうか？

障害者虐待防止法の概要・詳細については、厚生労働省のHP等をご参照下さい。

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaiyahukushi/gyakutaiboushi/

法施行に伴い、虐待を発見した場合は、福祉現場の支援スタッフを含め、市町村に設置された障害者虐待防止センターへ通報する義務がありますが、そのためには何が虐待に該当するのか、定義や類型を理解する必要があり、内外を問わず、研修やセミナーに参加する機会が増えました。

同時に、「車イスの胸ベルト装着も身体拘束になるのか?」「何が『子どもあつかい』で、心理的虐待に該当するのか」等、疑問や切実な悩みも増加しています。確かに故意に虐待するケースは極めて希ですが、逆に「相手の為」と自分勝手に解釈し、無意識に虐待しているケースや障害特性を踏まえない支援、知識や理解不足によって虐待が生じている場合もあります。とりわけ閉鎖的な環境にある施設の中で、虐待を芽吹かせないためには、個々の支援スタッフが、日々に流され自らの感性が麻痺していないか常に意識すると共に、虐待を許さない職場風土、ボランティアや実習生の積極的受け入れによる施設の可視化等が必要になります。

また、プロである支援スタッフや事業主による虐待は論外ですが、ご家族(養護者)による虐待も後を絶ちません。しかし、前述のとおり望んで虐待しているご家族などあるはずもなく、多くは介護疲れや経済状況等により、ご家族自身が追い詰められ虐待に至っています。いかなる状況下でも虐待することは許されませんが、虐待の深層に潜む背景、要因をしっかりと見極め、ご家族の負担軽減や心のケアなど、具体的にご家族を支援できなければ、悲しい負の連鎖を断ち切ることはできません。法第14条に「養護者の支援」を明記した点はとても大きいと思います。

入浴スタッフ募集

ささゆり園では、障害のある方の入浴サービスを支えてくれるスタッフを募集しています。

募集人数：若干名（同性介護が原則となります）

* 年齢は不問ですが、入浴介護につき、一定の体力は必要となります。

活動内容：障害（知的・身体）のある方の入浴介護、送迎時の添乗、等

活動曜日：月曜日～金曜日（1日だけでもOKです）

活動時間：①月曜日 午後3時30分～5時30分の2時間

②火曜日 午後4時00分～6時00分の2時間

③水・金曜日 午後4時45分～6時45分の2時間

④木曜日 午後3時30分～6時30分の3時間

活動場所：箕面市立障害者福祉センターささゆり園

（箕面市西小路3-9-9）

謝 礼：1時間あたり1,500円

交 通 費：無し（近隣の方歓迎！ バイク・自転車利用は可）

その他：初心者の方でもOK！！ベテランスタッフが懇切丁寧にお伝えいたします。

（ホームヘルパー2級資格を取得されようと思われている方、その前に一度体験されてはどうでしょう？）



ヘルパー等の資格
は問いません。
時間等の相談も
お気軽にどうぞ。

あなたの得意な分野を生かしませんか
ささゆり園では、ボランティアと一緒に活動して下さる方を
大募集しています。マジックショー・紙芝居・コンサート・演劇などを
発表して下さるボランティアさんも大歓迎です！！
興味のある方はぜひ一度、下記担当者までお気軽にご相談下さい。



お問い合わせ先
箕面市立障害者福祉センターささゆり園
住 所：箕面市西小路3-9-9
TEL/FAX
072-724-2940
Eメール：sasayurien@m-akatsuki.or.jp
ホームページ：http://www.m-akatsuki.or.jp/
ブログ：http://akatsukiminoh.blog.fc2.com
担 当：加藤・家村

あかつき福祉会 ブログ



編集
後記

「介護の仕事って大変ですね」とよく言われます。でも介護の仕事に限らず、どんな仕事も大変だと思います。なのに「介護＝しんどい」と思い浮かべる方がまだまだ多いため、「利用者さんの笑顔」や「仕事の楽しさ」を伝えることにより、少しでも「介護の仕事」のイメージが変わるようにと願いを込めて、「ささゆり園だより第2号」を作成しました。引き続きよろしく願いいたします。（家村）